

参院選

私鉄やバスなどの労働組合でつくる私鉄総連

(渡辺幸一委員長) は 6

日、東京都内の本部で旗開きを行い、今夏の参院選で民主党公認候補の必勝を誓った。私鉄総連は 21 年間、組織内候補として社民党の湧上貞雄副党首を擁立してきたが、同氏の引退を機に民主党に

乗り換える格好で、社民党の苦境ぶりを象徴する旗開きとなった。

旗開きには、民主党の細野豪志組織・企業団体委員長が出席し、「参院選を乗り越えて 3 党連立の基盤を確立することが、みなさんとの共同歩調を確実なものにする」と、私鉄総連との結束強化を訴えた。

私鉄総連 民乗り換え

一方、長年のパートナーだった社民党から出席した重野安正幹事長は「いろいろな形でお願いすることが出てくるかもしれないが、その折には相談に乗っていただきたい」と述べるのが精いっぱい。

社民党関係者は毎日新聞の取材に「私鉄総連傘下の労組のうち、心情的に社民党を支持する組織から票が流れてくるのを期待する程度だ」と話した。

私鉄総連は昨年 7 月の定期大会で、民主党から候補を擁立する方針を決定した。【白戸圭一】

社民の組織内候補引退し